

令和8年度

星美学園短期大学
自己点検・評価報告書
(令和6・7年度)

令和8年5月
星美学園短期大学

令和6（2024）年度 星美学園短期大学 自己点検・評価報告書

(1) 令和6（2024）年度

実施部署	改善を要する事項	改善した事項・改善計画
幼児保育学科	保育実習における責任実習指導案書式の改訂	責任実習指導案について、幼稚園実習の指導案との共通性を高め、学生の学びの連続性に配慮して、改良した。具体的には、1日（または半日）の指導案と、主活動の計画の用紙を分けた。これにより、実習開始前に、主活動部分の指導案を完成させることができるようになり、実習初日に主活動部分の指導案を提出できるようになった。
	教職課程の自己点検・評価	簡略化した形で今年度も実施したが、全国私立大学教職員課程協会からのフォームの改定に合わせて変更した形で実施した。
	現場体験活動	クラス全員が体験する現場活動や、教員と共に行う活動について、その科目や活動を担当する教員が、その場で記入をする時間を設けるようにした。また、「フィールドワーク」に該当する活動を教員から学生に紹介した。
	学生支援コーディネーターチームの活動	聴覚障がいのある学生に配慮して、パワーポイントに字幕機能が付くoffice365を教卓PCにインストールし、専任及び非常勤講師に使用方法を伝えた。また、10月に、ノートテイクの講師を招き、希望する全ての学生と教職員を対象にノートテイク講習を行った。さらに、学習支援コーディネーターチームやアシスタントが、本人が非常勤教員に説明する場に同伴することは有益なことが多い。今後も必要に応じて行っていく。
教務部委員会	教室環境の整備（教卓PCの字幕対応）	合理的配慮を要する聴覚障がいのある学生（2024年4月入学生）を対象とした授業を担当する教員が、パワーポイントの字幕機能を使用できるように、各教室の教卓パソコン（10台）にアプリケーション「マイクロソフト365」を搭載した（6月に完了）。
	中高の教室不足に伴う短大教室の貸し出し	中高のクラス数増加により次年度の教室不足が予測されるため、短大2階の3教室を貸し出すことを検討した。
	合理的配慮に基づく指導の周知	合理的配慮を要する聴覚障がいのある学生の入学に当たり、教職員に、口頭での説明に加えて資料やプリントを配布すること、音声を文字化するアプリケーションを使用することなどを事前に周知した。
学生部委員会	アッセンブリー設定	重複し複数の企画が実施された場合に、いずれにも参加すべき・したい学生の機会を失うこととなっていた。次年度以降のアッセンブリー予定の検討時には、「必ず該当者が参加すべき企画」との重複設定とならないように留意する。
	自宅外通学学生の集いの実施のあり方	自宅外通学学生だけの集まりとすると、参加者が少ないため、遠距離通学学生も加えた。さらに、仲間を誘い合って参加できるように掲示内容など工夫した。また、提供する食事よりも学生が好みそうな物を選択し、次回も楽しみにできるような形で行った。
	男子学生更衣室の利用	男子学生更衣室として229教室を使用していたが、修道院の建替に伴い荷物置き場となったため、男子更衣室は廃止し、女子と同様に必要時には時間割に使用教室を提示する形とした。

実施部署	改善を要する事項	改善した事項・改善計画
学生部委員会	感染症拡大の予防対策	新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した後も、感染症対策の重要性を認識し、引き続き適切な対応ができるように、新型コロナウイルスおよびインフルエンザA/B型の同時検査が可能な抗原検査キットを常備し、学生が発熱した際には速やかにこれを活用した。これにより、学生一人ひとりの健康管理を徹底し、校内における感染拡大の予防に努めた。
キャリアセンター	採用試験の支援	採用試験で適性検査にクレペリン検査を実施する保育園、企業が多くなってきている。採用試験内容の情報収集に努め、多様な適性検査に対応できるように検査の方法、回答の仕方など個別に対応した。
	個人面談の支援	就職活動の学生は、個人面談(園見学までに2回実施)を実施した。夏期休業期間前に、就職活動のスケジュールを立て、計画的に余裕を持った就職活動となるように指導した。
	難病相談支援センター(ハローワーク)との連携による就労支援の実施	飯田橋ハローワーク難病患者就職サポーターとの連携により、障害に理解のある職場などハローワークからの求人情報の提供は、就職先の選択の幅を広げることができる。また、個々の障害特性に応じた職業相談を福祉・専門医と連携しながらチームで支援を実施していることから、学生にとっても安心して相談できる環境であると考え、該当する学生に相談することを促した。
高大接続推進・広報WG	大学報「La voce」	発行時期を変更し、星美祭まで取材してから発行した。また、配布先は高校への配布を中止した。
情報ネットワーク委員会	教室環境の整備(4階無線LAN設備)	合理的配慮を要する聾学生(2024年4月入学生)が音声通訳ソフト機能を使用できるように、4階リミック室、ML教室、406教室の3カ所にWiFiスポットを増設し、ピアノ個室前廊下(1カ所)にミニ中継機を設置した(11月に完了)。
図書委員会	「新書」の見直し	授業で使用する頻度が増えたため、授業担当教員と連携し、新刊書の内容の見直しを行った。
	ブラウジングコーナーの活用	星美学園幼稚園児と保護者を対象とした絵本や紙芝居などの読み聞かせコーナーとしての活用について検討した。
日伊総合研究所委員会	公開講座受講生増加に向けた取組	イタリア語講座の開講回数を減らすことに伴い、受講料の減額を検討・実施した。受講料が安くなったことで各クラスへの新規申込み者数の増加に繋がった。特に「入門クラス」、令和5(2023)年度に対し約62%増加に繋がった。
FD委員会	授業科目アンケート	前期に未実施の科目があったことを受け、後期は教員宛の実施要項に「未実施の場合はFD委員から学生に回答を促す」旨を記載した。後期は2年次で該当科目が複数あり、「幼児保育キャリア演習Ⅱ」の最終授業日にFD委員が実施した。
	授業公開ウィーク	令和5(2023)年度の後期に引き続き、令和6(2024)年度は前期・後期ともに事務職員も授業を参観し、レポートを提出した。
	FD研修	配慮申請をしている学生に対する授業の工夫をテーマに実施することになり、「学生支援コーディネーターチーム」との合同企画として実施することにした。
IR委員会	Googleフォームによるアンケートの実施	外部委託していた「キャンパスライフアンケート」と郵送していた「就職先アンケート」について、経費削減のためGoogleフォームで実施した。

実施部署	改善を要する事項	改善した事項・改善計画
研究倫理委員会	研究に関する倫理審査申請書変更届作成	倫理審査申請書を提出した後に研究計画に軽微な変更が生じた場合、変更届のみを提出することで簡易な審査を可能とするため、「研究に関する倫理審査申請書変更届」を作成した。
	研究インテグリティ確保のための内規・誓約書	学内の研究インテグリティを確保するため、「研究インテグリティ確保のための内規・誓約書」を作成した。
研究論叢編集委員会	イタリア語翻訳の外部委託	令和6(2024)年度からは、研究論文等のタイトルをイタリア語に翻訳できる専任教職員が在籍していないことから、外部委託することとした。
事務部	省エネルギー問題	省エネルギーの観点から、令和6(2024)年度に、1階「受付」、「事務室」に本館で使用していたLEDの一部を移築した。
	課題	今後改善することが望ましいこと
キャリアセンター	求人情報提供の支援	学生がスマートフォンなどの電子機器から、本学に届いた「求人情報」を、必要な時に自由に閲覧できるようにする。外部の「デジタル求人ライブラリー」(無料)を利用できるか検討する。

(2) 令和7(2025)年度

実施部署	改善を要する事項	改善計画
教務部委員会	中高の教室不足に伴う短大教室の貸し出し	今後も中高のクラス数増加により次年度の教室不足が見込まれるため、時間割等をみながら短大教室を貸し出すことを検討していく。
学生部委員会	「高等教育修学支援の新制度」対象外となることによる学生支援	「高等教育修学支援の新制度」の機関要件を満たさないため、令和7(2025)年度2年次生は、新規申し込みができないこととなるため、何らかの救済措置について検討する必要がある。
情報ネットワーク委員会	情報ネットワークシステムの更新	本学の教育研究用システムは2019年2月に更新しており、2025年2月で7年目を迎える。2025年10月にWindows10のサポートが終了すること、過去の事例として、6年目にサーバが劣化して故障したことからも、令和7(2025)年度にシステムを更新することは必須事項である。閉学までの残り2年間、今後どのように運用するのがよいか検討した結果、ネットワーク端末、ディスプレイ、プリンタは既存を利用し、故障し対応が不可能になった場合に、新しい機器に交換していくこととした。なお、サーバを撤去し、新規にネットワーク接続型ストレージ(NAS)を設置する。
図書委員会	ブラウジングコーナーでの絵本の読み聞かせ会の実施	ブラウジングコーナーを星美学園幼稚園児と保護者を対象とした絵本や紙芝居などの読み聞かせコーナーとして活用し、担当する学生ボランティアを募集する。
日伊総合研究所委員会	公開講座の開講日程	イタリア語講座の開講日はこれまで不規則に配置されていたが、受講生の利便性を優先し、おおよそ等間隔で配置する。

実施部署	改善を要する事項	改善計画
FD委員会	授業科目アンケート	業者に依頼せず、学内で実施することとなったため、実施方法について検討する必要がある。
研究論叢編集委員会	外部査読者の依頼	専任教員の減少に伴い、査読者が不足する事態となっている。投稿中の教員が他の投稿者の査読を行うことは負担が大きいため、可能な限り回避し、元専任教員等学外の関係者にも査読を依頼する。これにより、より専門分野に近い教員や、研究方法が近い教員に査読の依頼ができ、より適切に査読が行われることが期待できる。

(3) 令和8(2026)年度の改善計画 および 懸案事項

実施部署	改善を要する事項	改善計画
学生部委員会	星美祭	令和8(2026)年度は、専攻科生だけの在籍であることから星美祭のあり方を考えていかねばならない。令和7(2025)年度の星美祭後に学生に令和8(2026)年度の星美祭についてアンケートを実施することになっている。このことに関しては、学生部だけでなく学科も交えて検討していく。
日伊総合研究所委員会	令和8(2026)年度研究会開催日程	例年2月下旬に実施していたが、所報を発行するための期間を十分にとるため、2026年11月の開催を計画する。
	令和8(2026)年度研究研究所報23号(2026)発行	2026年11月に開催した研究会の記録を含め年度内に発行する計画をすすめた。
研究倫理委員会	研究倫理教育・研究活動におけるコンプライアンス教育体制	本学では日本学術振興会の提供する研究倫理eラーニングコース「eL CoRE」を導入しているが、本学所属研究者の研究現場における実情や研究活動の多様性、研究分野の特性等も踏まえた実効性の高い研究倫理教育活動へ昇華させるべく、本学研究者同士でのグループワークなどの「アクティブ・ラーニング形式」の導入などを検討したい
研究論叢編集委員会	研究論叢の保管・破棄	令和8(2026)年度は本学最終年度となる。保管している過去の研究論叢の処分が必要となるため、具体的なルールの設定を検討する。
事務部	事務システム運用、学籍情報などの管理について	令和8(2026)年度短期大学廃止に伴う事務システムの運用、また学籍情報の管理方法など、法人事務局と具体的に検討必要がある。

令和7（2025）年度 星美学園短期大学 自己点検・評価報告書

(1) 令和7（2025）年度

実施部署	改善を要する事項	改善した事項・改善計画
キャリアセンター	就職活動用履歴書に関するデータ提供の支援	学生は就職活動において、原則として本学指定の履歴書(手書き)を作成し、郵送または持参して提出している。一方で、近年では履歴書の「データ提出」を求められるケースが増加していることから、履歴書のデータ提供・データ送信に関する留意点を整理し、学生への支援体制を整えた。
学生部委員会	「高等教育修学支援の新制度」対象外となることによる学生支援	「高等教育修学支援の新制度」(以下、「新制度」という)の機関要件を満たさないため、令和7(2025)年度2年次生は、新規申し込みができないことを踏まえ、学園による授業料減免及び小山君子奨学金を、新制度の支援要件を満たす2年次生にも摘要することとした。
	自宅外通学学生・遠距離通学学生の集い	本集いは、実質誰もが参加できる会である。チラシに「誰でも参加可能」と明記して参加者を募集した。
情報ネットワーク委員会	情報ネットワークシステムの更新	本学の教育研究用システムは2019年2月に更新しており、2025年2月で7年目を迎える。2025年10月にWindows10のサポートが終了すること、過去の事例として、6年目にサーバが劣化して故障したことからも、令和7(2025)年度にシステムを更新することは必須事項である。閉学までの残り2年間、今後どのように運用するのがよいのか検討した結果、ネットワーク端末、ディスプレイ、プリンタは既存を利用し、故障し対応が不可能になった場合に、新しい機器に交換していくこととした。なお、サーバを撤去し、新規にネットワーク接続型ストレージ(NAS)を設置した。
図書委員会	ブラウジングコーナーでの絵本の読み聞かせ会の実施	ブラウジングコーナーを星美学園幼稚園児と保護者を対象とした絵本や紙芝居などの読み聞かせコーナーとして活用し、担当する学生ボランティアを募集し、絵本の読み聞かせ会を2025年7月と11月に2回実施した。
日伊総合研究所委員会	公開講座の開講日程	イタリア語講座の開講日はこれまで不規則に配置されていたが、受講生の利便性を優先し、おおよそ等間隔で配置した。
FD委員会	授業科目アンケート	質問紙とGoogleフォームの2つの方法を提示して、外部業者に委託せず、学内で実施した。
	FD研修	土曜日にFD研修を開催することの負担が大きかったことから、令和7(2025)年度は授業のない2月の平日午後の開催とした。
研究論叢編集委員会	外部査読者の依頼	専任教員の減少に伴い、査読者が不足する事態となっていることから、元専任教員等学外の関係者にも査読を依頼した。

(2) 令和8(2026)年度

実施部署	改善を要する事項	改善計画
日伊総合研究所委員会	令和8(2026)年度研究会開催日程	例年2月下旬に実施していたが、所報を発行するための期間を十分にとるため、2026年10月の開催を計画する。
	令和8(2026)年度研究研究所報23号(2026)発行	2026年10月に開催した研究会の記録を含め年度内(2027年1月)に発行する計画をすすめたい。
図書委員会	図書館システムの運用・管理	令和8(2026)年度短期大学廃止に伴う図書館システムの運用、図書館システムや図書台帳の管理方法など、法人事務局と具体的に検討する必要がある。
FD委員会	授業科目アンケート	実施は任意とし、「活用報告書」の提出は不要とする。
	授業公開ウィーク	次年度は開講授業が少ないため、前後期とも2週間の公開期間を設けるが、教職員の参加は必須とせず任意参観とする。その一方で、研究授業と研究討議を後期に設定し、選任教員の参加を必須とする予定である。
	FD研修	最終学年であることをふまえ、研修が授業や業務に活かせるよう前期6月の実習期間に実施する。内容は外部講師を招き、専門的知識を深められるように計画する。
事務部	事務システム運用、学籍情報などの管理について	令和8(2026)年度短期大学廃止に伴う事務システムの運用、また学籍情報の管理方法など、法人事務局と具体的に検討する必要がある。